

戦略1

現代的教育課題に対応できる質の高い能力を持った教員の養成

いじめ、不登校、家庭環境の問題など、次々に生起する生徒指導上の現代的教育課題を学内外の人々と協力して解決できるように、学校ボランティア活動など正課以外の活動に積極的に取り組ませることで、自律性や協働性を備えた教員を養成する。

一方で、教科指導上の現代的教育課題として、特に問題となっている理系教育と小学校英語の強化に焦点を当て、理系に強い教員を養成し、また、児童に小学校英語を教えられ、地域性を大切にしながらグローバルな視点を与えられる英語コミュニケーション力をもった教員を養成するとともに、小中一貫教育に対応できる教員を養成する。

【取組1】新たな教育課題に対応しうる自律的で協働的な能力を備えた教員の養成

①「教育実践力をアップする「プラスPチャレンジ」の推進 (学校ボランティア、インターンシップなどへの参加)

これまで取組んできた教育実践力を高めるための様々な取組をさらに強力に推進し、学生の教育実践力を高める。

②教員としてのレジリエンスと協働性を高める「プラスAチャレンジ」の推進(運動部活動指導者育成、e-Pro、ピアサポートなどへの参加)

学生の独創的で創造力豊かな研究活動を奨励することを目的とした学生支援研究プログラム(e-Project)や、学生の主体的な教育関連活動を新たに包括する仕組みを創設するなど、学生の自律性、協働性を涵養する体制を整備。



活動の一コマ

③学校教育に対する視野を拡げ、発達段階を見通した教育を実践する「プラスLチャレンジ」の推進(義務教育を中心とした2免許取得など)

子どもの発達段階を見通した、きめ細やかな指導を行えるよう、2免許取得を奨励する体制を整備するとともに、学生の得意分野を伸ばすための取組を推進する。

④学びを活性化するアクティブ・ラーニングを取り入れた大学授業の推進 (FD研修開催、施設設備の改修)

シラバス改定やFD研修等を強力に推進し、学生自身がアクティブ・ラーニングに即した教育活動が実践できるよう、平成31年度のカリキュラム改編に反映する。

⑤モラル人権意識の高い教員の養成

近年、頻発している学生の不祥事や事件を受けて、モラルや人権意識の高い教員を養成するため、新入生・在学生オリエンテーションや初年次教育などの様々な場面でセミナー等を実施する。

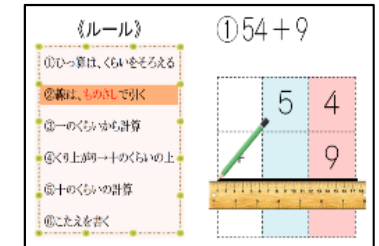
【取組2】現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発

①リクスペ・リケジェネ制度の構築、運用、検証と改善

小学校教員を目指す全ての学生を対象として、社会的要請の強い、理系教科に強い教員を養成するとともに、平成31年度のカリキュラム改革に反映させる。

②プチコンテンツの制作、運用、充実 (YouTubeサイトの活用)

学生が主体的に理系教科の内容を教えるための動画・映像(プチコンテンツ)を制作することを通じて、ICTを活用した効果的教育方法を学修するとともに、理系教科の内容のより深い理解を図る。



プチコンテンツ試作

③「それはかなう夢講座」(理系教員が理数教科の魅力伝える講座)の開設と検証・改善

最新の研究内容を文系学生にもわかりやすく解説する講座を定期的で開催し、科学の魅力を広く学内に発信し、理系教科の楽しさを発信する。

④リケトク(理系教科特別授業)の開始と検証・改善

本学大学教員、大学院生、附属学校教員が協力し、理系教科の教育内容を開発し、附属学校において特別講座を開催する。平成29年度に移行した義務教育学校制度に対応した9年間の系統性のある理系カリキュラムの開発などの研究に生かす。



講座(イメージ)

【取組3】グローバル人材育成のためのカリキュラム開発と教員養成

①学部における「グローバル教員養成プログラム」の実施と発展的展開

グローバル社会で活躍するための素地を形作るカリキュラムや授業をコーディネートできる、海外教育事情についての知見を持ち、日本の教育現場を多面的に捉えられる教員を養成するためのプログラムを強力に推進する。

②幼稚園から高等学校における発達段階別学習目標に基づいた実践授業とカリキュラム化等

グローバル人材育成を行えるよう、発達段階別学習目標に基づく授業実践を推進し、平成31年度をめどにカリキュラム化を図る。

【取組4】連合教職実践研究科・教育学研究科におけるグローバル教育の実施

①修士レベルにおける国際的で豊かなコミュニケーション能力を育成

②研修プログラムの開発と実施
海外教育事情についての知見を持ち、日本の教育現場を多面的に捉えられるとともに、研修を通じて海外の学校などの教育機関と交流し、必要に応じて協働できる教員を養成。

